

令和4年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：25018

学校名：西岡南小学校

改訂のポイント

○4年間の授業改善計画 1年目＜1年目：構想期／2～3年目：追究期／4年目：検証期＞

○つながりを大切にする授業（教材化と教師の関わりを大切にした授業づくり） ○小中一貫・小中連携の取組の見直しと深化

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆自ら問題意識をもって解決に向かう子ども ☆学び合いから、学ぶよさを実感子ども ※「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けさせる取組		
「学ぶ力」に関する成果や課題	主体的に学習に取り組む態度	【昨年度の具体的な取組】 子どもの実態を捉え、目の前の子どもに身に付けさせたい力の明確化を継続	【成果】 ⇒どの学習でも、進んでできている（80%以上：独自アンケートによる）見通しをもって学ぶことができるように授業を構成	【課題】 ◇学びに向かう意識の温度差が、児童の間にある→持続可能な主体的な学習に取り組む態度の育成
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 言葉をつなげることによる、問題の解決と活用場面の充実化（できうる限りの感染対策を講じた上で、最重点とした）	【成果】 ⇒人の話をしっかりと聞くことができる（80%以上：独自アンケートによる）日常的に、聞くことを大切にして授業を構成	【課題】 ◇聞くことはできるが、自信をもって伝えたりステップアップにつなげたりしようとする意識の弱さ
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○土台となる既習（知識・技能）を身に付け、引き出し、子どもの問題解決に生かす	【成果】 ⇒課題や問題に対して、よく考えることができる（約90%：独自アンケートによる）考えるための知識・技能を身に付けられる授業を構成	【課題】 ◇6年間で子どもを育てるための見通しをもった学習指導と基礎的・基本的な知識や技能の定着
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 自ら考え、学び合う子どもの育成を目指す		
	具体的な改善策（取組）	○前5か年研究の取組（学びを確かめる会）を生かし、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善 ○研究授業の公開を通して、お互いの授業力向上を目指す（校内研修の実施） ○研究教科を国語に設定し、まずは全員で同じ方向性を目指す…子ども像・授業像の共通理解→次年度以降に、広げていく ○家庭との連携強化…家庭学習ハンドブックの配付と取組の共有化+望ましい家庭学習の拡散（児童への指導） ○朝活動（8：25～8：35）の時間における取組の見直しと改善 ○一人一台端末を活用した習熟を図る学習の充実…基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図る		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科等の評価規準・基準の見直し…評価の在り方の検討（観点や方法） ○「きく（聞く・聴く・訊く）」力の育成と振り返り（学期末・計3回）の実施と検証を継続 ○校内研修等を活用し、「市内小学校5学年を対象とした学習に係る意識調査」結果（札幌市全体の共通指標）や標準学力検査、独自アンケート結果、ICTの活用に係るアンケート等を分析し、学校全体の傾向として共有→授業改善へ		